



趣旨

12月9日(土曜日)に早稲田大学26号館多目的ホールでシンポジウム「和解のための現代日本学」を開催することになりました。このシンポジウムは、科学研究費の新領域研究「和解学の創成」が主催し、早稲田大学先端社会科学研究所(社会科学研究科の付設研究所)が共催するものです。

中国の強国化が注目されるなか、日本研究が大きな転換点に立たされています。昨今の日本とアジアの日本研究の現状に鑑み、社会科学と人文科学を融合させた現代日本学の拠点を日本に作ることの必要性と、早稲田大学がその役割を担うことの意義は改めて強調するまでもない。

戦後の日本は世界のどの国よりも早いスピードで大規模な現代的課題に直面してきました。日本が蓄積してきた成功と失敗の両面の経験を「日本的なもの」という枠に閉じ込めるのではなく、それを普遍化することによって、アジアないし世界共有の財産としての「現代日本学」を形成し、「中国学」や「韓国学」および「アジア学」とのコラボレーションのなかで、アジアの「和解」と平和への貢献の道を探っていきたいと思います。



プログラム

12:30 受付開始

13:00 趣旨説明「和解のための現代日本学」

劉傑(早稲田大学社会科学総合学術院教授)

13:15 開会の挨拶

山田満(早稲田大学社会科学総合学術院長)

第1部「現代日本学」が目指すもの

司会:劉傑(早稲田大学社会科学総合学術院教授)

13:30 「日本における社会保障の歴史的経緯――現代日本学の可能性をめざして」

久塚純一(早稲田大学社会科学総合学術院教授)

14:00 「和解の社会的プロセスとレジリエンスの計画論」

早田宰(早稲田大学社会科学総合学術院教授)

14:30 討論

久塚純一(早稲田大学社会科学総合学術院教授)

早田宰(早稲田大学社会科学総合学術院教授)

厚見恵一郎(早稲田大学先端社会科学研究所副所長)

野口真広(早稲田大学地域・地域間研究機構次席研究員)

林泉忠(台湾中央研究院近代史研究所副研究員)

15:10-15:30 コーヒーブレーク

第2部 和解のための現代日本学

司会:段瑞聡(慶應義塾大学商学部教授)

15:30 「アジア学、中国学、そして日本学」

毛里和子(早稲田大学名誉教授)

16:10 「東アジア共生的秩序とその方法」

森川裕二(長崎大学多文化社会学部教授)

16:30 「歴史家ネットワークと和解」

楊大慶(ジョージ・ワシントン大学准教授)

16:50 「外的和解と内的和解――『日本』をめぐる戦後台湾社会の戦争記憶と歴史観」

林泉忠(台湾中央研究院近代史研究所副研究員)

17:10 討論

司会:劉傑

討論者:毛里和子(早稲田大学名誉教授)

楊大慶 (ジョージ・ワシントン大学准教授)

森川裕二(長崎大学多文化社会学部教授)

林泉忠(台湾中央研究院近代史研究所副研究員)

段瑞聡(慶應義塾大学商学部教授)

奥迫元 (早稲田大学社会科学総合学術院准教授)

18:10 閉会の挨拶

厚見恵一郎(早稲田大学先端社会科学研究所副所長)

18:30 懇親会